



それぞれの ライフステージで 切れ目ない支援を。



幼年就学期・成年熟年期・
高齢期でそれぞれの人生
を豊かにする

香南市 人生支援計画

人生支援計画は、幼年期から高齢期までの「人生のライフステージ」ごとに応じたさまざまな事業で市民の皆さんの生活を豊かにするために平成27年度からスタートした計画です。計画に沿った100以上の取り組みをPDCAサイクル*で課題を分析・改善し続け、市民の皆さんのニーズに応えることができるよう取り組んでいます。



新しい部会体制で、住民ニーズを実現へ

平成30年度からは、施策を実施するための課題について、より深く議論し、改善することを一層重要視した体制で取り組んでいます。市が委嘱した各分野で活動している市民代表の約10人と市役所の関係各課の職員で「幼年就学期部会」「成年熟年期部会」「高齢期部会」の3つの部会を構成しています。

それぞれの部会では課題の分析と改善策を議論し、市民の皆さんの意見を反映させながら、よりよい事業となるよう取り組んでいます。平成30年度の各部会では、以下のような意見が出され一部事業に結びついたものもあります。

今年度からはそれぞれの部会がテーマを決め、さらに話し合いを進めていきます。

各部会の取り組みは

■幼年就学期部会

- ・アプリを活用した情報発信について
- ・児童クラブの待機児童について
- ・子どもが気軽に集まれる居場所作りを

■成年熟年期部会

- ・健康に楽しく暮らしていくためには
- ・地域コミュニティの確立

■高齢期部会

- ・高齢者の移動手段について
- ・高齢者の食事の問題
- ・粗大ごみの回収について



香南市議会定例会で清藤真司市長から平成31年度の施政方針が示されました。

施政方針は、市政運営に対する基本的な考え方や予算案、および主要な施策について述べたもので「まちづくりの指針」となるものです。このページでは、その中心となる5つの重点施策について抜粋して紹介します。

■当初予算を18・19ページに掲載しています。

施策1 住民自治の確立

まちづくり協議会や自治会の設立と活動支援を積極的に推進し、地域が活性化する取り組みを応援します。

集落活動を活性化させるために地域活性化総合補助金や集落活動センター推進事業費補助金などで集落の活力づくりを支援します。また、新たな取り組みとして、小学校区やまちづくり協議会単位などの小規模な集落における経済活動の推進や生きがいづくりの創出など、住民が主体的にチャレンジしたい事業を支援します。

施策2 地震・津波対策

地震・津波から「命を守る対策」に引き続き取り組むとともに、「命をつなぐ対策」の充実を図っていきます。

津波避難タワー、津波避難道、避難誘導灯や誘導標識などの整備を継続します。住宅の耐震化促進、老朽住宅等の除却、避難所運営マニュアルの作成や運営訓練などを支援します。また、大規模災害による建物被害の認定調査結果をデータ化できる被災者生活再建支援システムを導入します。

施策3 産業の振興

地域産業の持続的な発展を実現するための事業を推進します。

農林水産業施設の整備を継続して行うとともに、新規就農者の確保や担い手育成を支援します。雇用創出の新たな取り組みとして空き家・空き店舗を活用した情報サービス施設等の設置を支援し、事務系職種の企業誘致を図ります。また、観光面では、自転車を活用したまちづくりの推進を進めます。

「元気な香南市」を更に強くイメージアップするため、市の立地や特性を踏まえた事業を堅実に進めます。



清藤 真司

平成31年度 重点施策

施策4 人生支援

人生の始まりから終わりまでをトータルで見守り、支援していきます。

今夏完成予定の総合子育て支援センターを始め、特定不妊治療、産後ケアなどでさまざまな面から子育て世代を支援します。

また、高齢者の移動・外出支援の体制づくりなどの新たな取り組みを加え、家族の介助負担の軽減も図るなど、市民それぞれのライフステージに沿った支援を行います。

施策5 社会基盤の整備

安心安全な市民生活のための社会基盤整備を計画的かつ効果的に推進します。

平成30年7月豪雨などにより被災した公共土木施設、農業用施設及び林道施設等の災害復旧に全力で取り組むとともに、高規格道路関連周辺整備、道路新設改良、橋梁長寿命化、河川改修事業などを継続して実施します。また、車内で高度な救命措置が行える高規格救急自動車を導入します。

